業務用多収品種「ZR1」の導入

ZEN-NOH

○　「ZR1」の導入で、作期分散および契約栽培で安定収入確保につながります。
○　病害耐性や耐倒伏性が強い早生品種で、計画的な農作業に貢献します。
○　大粒・良食味で、加工適正も高いことから、外食やパックご飯などの業務用需要者から高い評価を受けています。

全農・農研機構共同育成品種　：　ZR1

登録出願	２０２３年（令和５年）
育成地	農研機構　東北農業研究センター
栽培適地 出穂・成熟期	・東北中南部、北陸、関東以西 ・出穂・成熟期ともにあきたこまちとほぼ同じ
想定反収	700～800kg
特　長	・葉いもち'かなり強'、穂いもち'かなり強'、倒伏耐性'強'、縞葉枯病抵抗性 ・玄米千粒重は重く大粒、食味はあきたこまちと同等

令和６年産実績データ

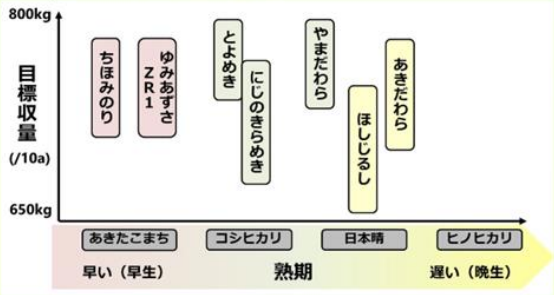
・最高反収 **834kg**
・**1等比率76%（86圃場）**
・千粒重　最大で**24.9g**

<ZR1の籾および玄米>
（左からZR1、あきたこまち、ゆみあずさ）

多収品種による契約栽培

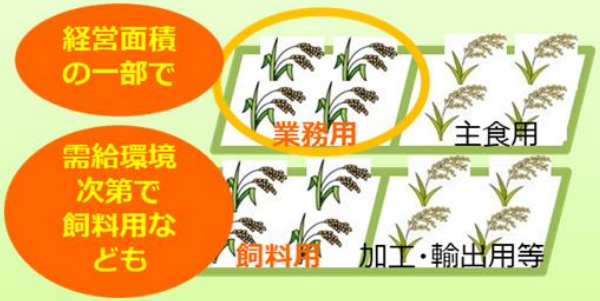
作期・労力分散が可能！

<品種別の作期と収量>



リスクヘッジが可能！
複数年契約で長期安定的な販路を確保！

<生産イメージ>



充実の栽培支援！
標肥栽培でも多収実績あり！

<主産地での高反収事例>

品種	標肥※1	多肥※2
ゆみあずさ	７４３kg	８９７kg
とよめき	７３８kg	９０２kg
ちほみのり	６９３kg	８８８kg
ほしじるし	６２５kg	７０７kg
やまだわら	７１８kg	７２０kg

※１　育成地データ
※２　令和元・2年産での全農契約栽培圃場での反収事例